関西大学
KANSAI UNIVERSITY

関西大学 社会安全学部・大学院社会安全研究科
第9回 東京シンポジウム

社会安全学の視点から企業の防災・リスクマネジメントを考える

―「防災庁」の新設、企業不祥事における「第三者委員会」をテーマとして―

2025年9月12日[金]

13:30～17:30 （12:50開場）

関西大学東京センター 〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー9階

開催方法 教室でのリアル参加 １００名 ＋ オンラインのハイブリッド開催
※本学 社会安全学部・大学院 社会安全研究科の学生が参加の場合は、原則としてオンラインで聴講。

対 象 企業の防災・リスクマネジメント・危機管理部門担当者、行政、マスメディア及び、その他一般の方

申込方法 お申し込みフォームから、必要事項を入力ください。（→ QRコード）

定 員 リアル参加 100名 ・オンライン参加 300名
（定員になり次第申し込みを終了いたします）

参加費 無 料

プログラム

【総合司会】 髙野 一彦（関西大学社会安全学部長 教授）

13:30～13:40 **開会挨拶・問題提起** 髙野 一彦（関西大学社会安全学部長 教授）

「防災庁」・「第三者委員会」を焦点に、企業の防災・リスクマネジメントの将来像を考える

13:40～17:30

第１部 13:40～15:00

◆ **基調講演** 我が国における防災の発展系譜と「防災庁」・企業コンプライアンスと「第三者委員会」をめぐる議論（各40分）

「『本気の事前防災』を実現できる防災庁の挑戦」
河田 惠昭（関西大学社会安全学部 特別任命教授 社会安全研究センター長）

「企業の不祥事・事故防止における第三者委員会の意義と限界」
安部 誠治（関西大学名誉教授 梅田キャンパス長）

第２部 15:20～17:30

◆ **事例講演** 社会安全学の将来像（各30分）

「安全・安心な社会を構築する企業となるために」
吉田 裕（関西大学社会安全学部 教授）

「『守る防災』から『創る防災』へ――企業戦略としての社会安全学」
奥村 与志弘（関西大学社会安全学部 教授）

◆ **パネルディスカッション** 16:30～17:30

社会安全学と企業の防災・リスクマネジメント

パネルチェア：髙野 一彦
パネリスト：河田 惠昭、安部 誠治、吉田 裕、奥村 与志弘

17:30～17:45 **休憩**

17:45～19:30 **懇親会 ＋ 名刺交換会 （参加は任意、費用お一人様 5,000円）**

主催／関西大学社会安全学部 後援／関西大学東京経済人倶楽部・BERC（経営倫理実践研究センター）
お問合せ先／関西大学社会安全学部東京シンポジウム事務局 TEL:072-684-4000 FAX:072-684-4007

社会安全学の視点から企業の防災・リスクマネジメントを考える

―「防災庁」の新設、企業不祥事における「第三者委員会」をテーマとして―

本年は、日本航空ジャンボ機墜落事故（1985年発生）から40年、阪神・淡路大震災（1995年発災）から30年、JR福知山線脱線事故（2005年発生）から20年目にあたる。

関西大学は、2010年に社会安全学部と大学院社会安全研究科を新設した。その際、新しい安全知の体系としての社会安全学を世に提唱した。社会安全学は、大規模地震などの自然災害、組織事故などの社会災害、安全保障や感染症などの問題群を対象として、安全・安心な社会の構築のための学際融合研究と、政策立案を目的とした新しい学問体系である。

社会安全学部は、学部の開設当初、日本の政治・経済の文化の中心地である東京において2010年から2017年まで8年間継続して「東京シンポジウム」を開催した。今回、東京で8年振りに学部主催の講演会を企画した。テーマは、首都直下地震の切迫性やフジテレビ問題など多発する企業不祥事を踏まえて、企業の防災と不祥事にかかる第三者委員会問題とした。

多くの方々のご参加をお待ちしている。

講 演 者 プ ロ フ ィ ー ル

河田 恵昭

防災研究50年の節目に当たる2024年に至るまで、目標とした防災庁創設につながる研究活動を継続し、この度、いよいよ実現の運びとなった。阪神・淡路大震災と東日本大震災を経験して、これらの巨大災害の解析から『社会現象の相転移』を発見し、これが日本自然災害学会功績賞を受賞して『本気の事前防災』が可能になった。この間、科学研究費は53件採択され、執筆した学術図書は約90冊、論考は約1200編に及び、受賞は瑞宝中綬章など20を数える。

安部 誠治

1952年山口県生まれ。大阪市立大学（現、大阪公立大学）の助教授を経て93年に本学商学部に着任。2010年に新設の社会安全学部へ移籍。理事、副学長、社会安全学部長などを歴任。現在、梅田キャンパス長、JR西日本鉄道本部・技術顧問の職にある。公益事業学会長、運輸安全委員会業務改善有識者会議座長、政府原発事故調・技術顧問、消費者安全調査委員会臨時委員などを歴任。

2021年に文部科学大臣表彰（科学技術省）、2025年に向殿安全賞・功労賞を受賞。

吉田 裕

1972年東京都生まれ。1995年、東京理科大学理工学部土木工学科を卒業後、西日本旅客鉄道株式会社（JR西日本）に入社。入社後は、技術系社員として保線業務に従事し、鉄道総合技術研究所への出向も経験。2006年より福知山線列車事故を契機に設立されたJR西日本・安全研究所の研究員となる。2016年には関西大学大学院社会安全研究科にて博士（学術）を取得。2023年より関西大学社会安全学部・教授となり現在に至る。事業用自動車事故調査委員会委員を兼任。

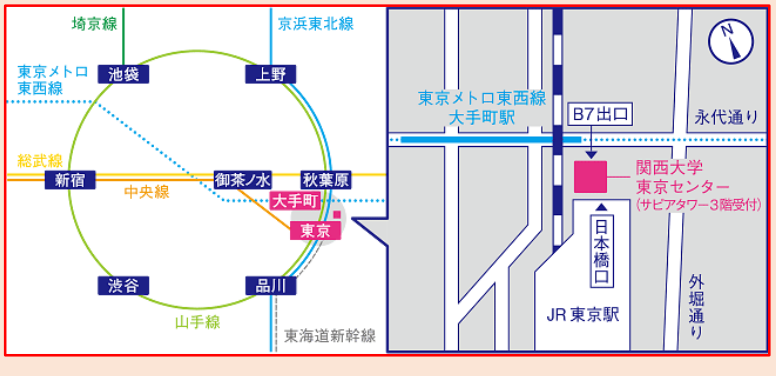
奥村 与志弘

1980年京都府亀岡市生まれ。博士（情報学）。専門は総合防災・減災。京都大学を卒業後、同大学助教などを経て現職。東日本大震災では政府現地災害対策本部などに対する支援を実施。津波避難や災害関連死の研究に加え、防災を契機とした企業や地域の変革にも注力。また、中央防災会議「防災対策実行委員会『南海トラフ巨大地震対策検討ワーキンググループ』」委員や『大阪府防災会議』専門委員など、政府・自治体などの委員も多数務める。

髙野 一彦

2010年 関西大学社会安全学部・大学院 准教授、2012年 教授、2014～16年 副学部長を経て、2024年より学部長・研究科長。日本経営倫理学会 常任理事・クライシスマネジメント研究部会長、経営倫理実践研究センター 理事・上席研究員など、多くの学術団体・企業・自治体で役員・委員等を兼任。

◆ 関西大学東京センター（サピアタワー9階）へのアクセス ◆



開催日時	2025年9月12日（金） 13:30～17:30 【受付12:50から】 （終了後～19:30まで懇親会+名刺交換会）
会　場	関西大学東京センター（サピアタワー9階） 【受付は3階】 東京都千代田区丸の内1-7-12 （JR東京駅日本橋口からすぐ） TEL03-3211-1670